

2023年度 日本工学院専門学校

建築学科

設計計画3

対象	4 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	瀧川 慧、他			実務経験	有	職種	建築設計／一級建築士				

担当教員紹介

ゼネコンにて、医療施設・商業施設・集合住宅等の意匠設計業務に従事したのち、大学での助手を経て本校の教師になる。建築設計やBIMを担当し、VR・AR等様々な最新技術を取り入れた教育を実践する。

授業概要

この授業では長期課題に取組みながら、卒業制作を進める上での「手順」について、制作過程を考察するものである。ただし、実際の卒業制作のようにすべてを許容するものではなく、課題としていくつかのその制限と各カテゴリーを通してタームを制限しながら、段階的な成果物の提出を求める。換言すると「卒業制作のシュミレーション」という長期課題を確実に完成させる為に、いくつかの短期課題を包含させるといった「二重構造」の課題形式により、それぞれのカテゴリーでの成果物提出と最終的な長期課題としてのプレゼンシートの提出を求めるものである

到達目標

1. ロングスケジュールという「卒業制作」を取組む上での「手順」及び「仕方」という設計過程を理解する。

2. 各タームにて制限時間を与えながら、スケジュール管理ができるようにする。

3. 基本的な図面の描き方について確認し、適切な図面表現について確実なスキルにさせる。

4. プレゼンについての考察をする。

5. 模型の表現・パースの表現・3Dの表現・動画の表現、或いは手描きによる表現について確立させる。

6. アイデア出し、コンセプト制作から具体的な建築物へ「形を与えるその手法」を考察する。

授業方法

目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。

成績評価方法

課題提出	50%	2 回の課題提出、その最後の内容について採点を行う
発表	30%	課題提出に伴う発表及びそこでの議論により採点を行う
平常点	20%	普段行われるエスキスの状況、進捗など

履修上の注意

この授業では積み重ねが大切である。また、自宅での学習、エスキスに向けた課題への取り組みがクリエイティブの根幹をなすというモノづくりの流れと原則を身体感覚に根差した理解を行う。よって具体的には休まないこと。そして自宅での準備の充実を注意点として挙げる。

※なお、特別演習3とリンクして授業を行う予定。

教科書教材

資料などプリント配布

回数	授業計画		
第1回	長期課題 1st Week	課題を進める上でのガイダンス	
第2回	長期課題 2nd Week	3つの地域について、フィールドワーク（街歩き）	
第3回	長期課題 3rd Week	敷地場所とプログラム選定（企画発表）	
第4回	長期課題 4st Week	敷地選びテーマ選び、ディスカッション、1st studyエスキスチェック、敷地調査1	
第5回	長期課題 5nd Week	エスキスチェック2、敷地模型製作1	

2023年度 日本工学院専門学校	
建築学科	
設計計画 3	
第6回	長期課題 6rd Week エスキスチェック 3、敷地模型完成
第7回	長期課題 7th Week 中間発表会
第8回	長期課題 8th Week エスキスチェック 4、JUMP 1（案をJUMPさせる）平面図 手書き
第9回	長期課題 9th Week エスキスチェック 5、JUMP 2、断面図 手書き
第10回	卒業制作 準備講座 スタジオ選択プレゼン（相互プレゼンテーション）、テーマについてディスカッション
第11回	卒業制作 準備講座 スタジオ選択プレゼン（相互プレゼンテーション）、テーマについてディスカッション
第12回	卒業制作 準備講座 スタジオ選択プレゼン（相互プレゼンテーション）、テーマについてディスカッション
第13回	卒業制作 準備講座 テーマの決定
第14回	卒業制作 進捗の確認
第15回	卒業制作 進捗の確認